

平成 30 年 12 月 定例教育委員会々議録

1 日 時 平成 30 年 12 月 26 日 (水) 午前 9 時 30 分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室 301

3 出席委員の氏名

教 育 長	仲 野 孝	教育長職務代理者	黒 川 優 子
委 員	山 崎 克 弥	委 員	中 野 信 男
委 員	秦 久美子	委 員	齋 藤 純 郎

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	山 田 公 一	主 幹	二 平 芳 信
学 校 教 育 課 長	宮 路 一 規	子 育 て 支 援 課 長	白 井 健 次
社 会 教 育 課 長	更 科 明 大	指 導 主 事	大 井 玲 子

5 本委員会書記

学校教育課 太 田 和 行 他 2 名

6 傍聴人

1 名

7 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第 16 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第 9 号 新規共催・後援申請について

## 議 案

議案第 35 号 燕市いじめ防止対策専門委員会委員の委嘱について

議案第 36 号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について

議案第 37 号 燕市立保育園及び認定こども園延長保育事業実施要綱の一部改正について

## その他

(1) 平成 30 年第 4 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 燕市入学準備金貸付基金条例の制定について

2) 燕市入学準備金貸付条例の制定について

3) 燕市保育園条例の一部改正について

4) 平成 30 年度燕市一般会計補正予算（第 9 号）の概要について

5) 一般質問の概要について

6) 社会教育施設使用料見直しの検討状況について

(2) 子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査の実施について

## 8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午前9時30分～

2. 会議録署名委員の指名 山 崎 克 弥 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について  
〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告  
〈仲野教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

- 12月市議会定例会が21日(金)に閉会し、いよいよ平成31年度の当初予算の編成が本格的に始まった。財政的に厳しい状況ではあるが、様々な課題が山積する中、教育に必要な予算は獲得できるように尽力したい。

2 平成30年第4回市議会の報告

- 議案のうち、「燕市入学準備金基金条例」、「燕市入学準備金貸付条例」の可決をいただき、平成31年度に高校や大学等へ進学する生徒の保護者に対して入学準備金を貸し付けることが可能となった。市民への周知に努めたい。
- 平成30年度燕市一般会計補正予算についても可決をいただきましたので、保育園などや小学校のブロック塀の撤去やフェンスの整備を行っていきたい。

【一般質問】

- 社会教育施設維持管理費と使用料について
- 未満児保育の拡充について
- ブロック塀とエアコンの設置について
- 燕市公民館の利用申し込みについて
- これからの教育行政について(体験活動、学力向上、冬季通学バス)
- いじめ問題について
- 学童保育の現状と課題について
- 園児の使用済みおむつについて
- 燕市立図書館利用について
- 燕市美術展覧会について
- 小池中学校区での保育環境整備について
- 地域の公民館のあり方について

## 【議員協議会】

- 「第2次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画(素案)」や「社会教育施設使用料見直しの検討状況」、「燕市小中学校いきいき課題活動の在り方に係る方針(素案)」について説明した。

### 3 12月行事予定より

- (1) 南相馬市スポーツ復興祈念第30回野馬追の里健康マラソン大会(12/1, 2)
  - 南相馬市とは、平成25年7月に「災害時相互応援に関する協定」を結び、現在は職員派遣などを続けているご縁があり、標記大会に分水ジュニア陸上教室の児童生徒と指導者を合わせて12人が参加した。
  - 今年度は、中学生の2人が「3km中学女子」で5位と8位に入賞するとともに、他の児童生徒も自己記録を更新するなど成果があった。
  - 来年4月20日(土)に行われる新たにリニューアルした「燕さくらマラソン大会」の運営にあたり参考になることが多く、大きな収穫となった。
- (2) 第7回燕ジュニア検定表彰式(12/8)
  - 11月5日(月)に行われた燕ジュニア検定は、全体の申込者数が2,806人、そのうちAクラスは149人と、今年も多くの子がチャレンジしてくれた。また、3年生以上の受検率は97.5%であった。
  - 今年度の検定では、新しくなった問題集での検定であったことから、新たな問題等も多くあり勉強が大変だったと思うが、最難関クラスに果敢に挑戦してくれたことを嬉しく思う。なお、表彰式では、燕ジュニア博士(満点者)の16人と、90点以上99点以下の児童36人を表彰した。
- (3) いじめ防止対策等専門委員会(12/7)
  - 「いじめ防止対策等専門委員会」いわゆる第三者委員会を開催し、委員の皆様には、事実関係をさらに明確にするための調査と、今後いじめを防止するため、学校などの組織全体が総合的に取り組むべきことについての提言をいただきたいとお願いした。
  - 教育委員会では、今後いじめに対する教員の指導力や対応力を向上させるような取り組みを強化するとともに、いじめから子どもたちを徹底して守る体制づくりを進めていきたいと考えている。次回は、1月17日(木)に実施する予定である。
- (4) つばめ野球クリニック 2018(12/16)
  - 東京ヤクルトスワローズの石川雅規選手、雄平選手、川端慎吾選手から、少年野球チームに所属する小学生約220人に対してクリニックを行っていただき、子どもたちはプロの技術に触れ、目を輝かせていた。

(5) 燕キャプテンミーティング(12/26~28)

- 燕キャプテンミーティングは、中学1・2年生を対象に、リーダーとしての心構えやチームワークづくりのポイントなどについて学ぶことを目的としており、今年で5回目となる。
- 今年度は、第100回全国高等学校野球選手権記念大会出場を果たした本市出身の高校球児である小鷹葵さん(中学2年の時にこの事業に参加)や12年間広島東洋カープで活躍した本県出身元プロ野球選手である今井啓介氏、ミズノトラッククラブの監督である中村哲郎氏を講師に招き実施する。
- 3人の講師の方の話を聞くことでそれぞれの生き方を学ぶとともに、リーダーとしての心構えを身につけて、夢に向かって挑戦し続けてほしいと考えている。また、ファシリテーションの手法による交流活動をとおして、チームワークづくりのポイントなどについて学ぶことにしている。

4 終わりに

- 12月21日に県立中等教育学校の志願倍率が公表され、燕中等教育学校は、定員80人のところ104人が志願し、1.3倍であった。なお、選考検査は1月12日(土)で、作文・グループ活動、面接が行われ、合格発表は1月20日(日)である。
- 現在は、市立中学校の他、公立中等教育学校や私立中学校も選択できることから、地域に根ざした特色ある学校づくりは公立の中学校も重要課題と考える。
- 様々な出来事があったが、誠実に前に向かって取り組む大切さを改めて感じた1年であった。教育委員の皆様のご支援とご指導を引き続きお願いする。

○委員(山崎 克弥)

各学校がいじめに関するアンケートを行っているとのことだが、アンケートの項目はそれぞれの学校が作成しているのか。

○主幹(二平 芳信)

現在はそれぞれの学校でアンケートを作成しているため項目が異なっているが、今後は市教育委員会で統一した項目をいくつか設定し、いじめの情報が出やすいアンケートになるよう準備している。

(3) 寄附報告

〈宮路学校教育課長が説明〉

#### 4. 専決処分の報告について

報告第 16 号 共催・後援の教育長専決報告について

3 件の共催・後援について

〈No. 1、2 について宮路学校教育課長が説明〉

〈No. 3 について更科社会教育課長が説明〉

##### ○委員（中野 信男）

後援を申請した「おたがいさま食堂」は、今回限りの開催なのか。また、他の地域食堂の開催状況はどうか。

##### ○学校教育課長（宮路 一規）

「おたがいさま食堂」は今回が初回にあたり、今後も開催が予定されている。他の地域食堂についても、定期的に開催されていると聞いている。

##### ○委員（黒川 優子）

開催場所が児童館等ではないため、教育委員会の後援ではなく市長部局のように思われるが。

##### ○教育次長（山田 公一）

この事業は、小中川小学校区を主な対象地域としており、学校を通して児童に P R するチラシを配布することを考慮し、教育委員会後援を希望された。

##### ○学校教育課長（宮路 一規）

食事をするだけでなく、レクリエーションを行うなど、子どもの居場所づくりとしての一面もあるため、教育委員会に後援申請が出されたものである。

#### 5. 協議題

協議第 9 号 新規共催・後援申請について

1 件の共催について

〈更科社会教育課長が説明〉

##### ○委員（中野 信男）

「立川談春独演会」について、会場の燕市文化会館は広すぎず、演者のしぐさや表情も観て感じ取ることができると思われるので、そのあたりを P R して多くの観客を集めてほしい。

## 6. 議 案

### 議案第 35 号 燕市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について 〈宮路学校教育課長が説明〉

#### ○委員（黒川 優子）

委員はいじめの重大事態に対処することのほか、未然にいじめを防ぐための助言等も行うのか。

#### ○学校教育課長（宮路 一規）

所掌事務の中には、いじめ防止のための対策を実効的に行うための調査及び審議に関することが含まれているため、未然にいじめを防ぐための提言をいただくこともある。

#### ○委員（黒川 優子）

過去に子供たちの書いた文章を読んだことがあるが、大人が考えるいじめを子どもたちはいじめと感じておらず、認識に大きな乖離があることに驚いた。いじりなど、いじめという認識がないので相手が傷つくことも知らないでやっている。学校では、いじめ防止に関する取り組みなどを一生懸命やっているが、実は子どもたちは分かっていない部分が多い。そのことを先生方が理解することが必要である。

#### ○主幹（二平 芳信）

いじめの定義をしっかりと子どもたちに伝えるためには、教職員が確実に理解していなければならない。そのため、再度、市教育委員会から各校長に研修会等で指導を行う。そして校長から教職員、教職員から子どもたちにしっかりと時間をかけて指導を行ってもらおう。

また、いじめに関するアンケートの項目を見直し、詳細なものにすることで、教職員にとっても子どもたちにとっても、いじめの定義が分かりやすくなると考えている。

#### ○委員（中野 信男）

子どもたちが大人になって社会に出た時には、ある程度の耐性も必要になると思うが、今の教育では、どのように耐性を養っているのか。

#### ○主幹（二平 芳信）

体験活動、部活動などの様々な教育活動を通して、耐性を養っている。

議案第 36 号 燕市保育園条例施行規則の一部改正について  
〈白井子育て支援課長が説明〉

議案第 37 号 燕市立保育園及び認定こども園延長保育事業実施要綱の  
一部改正について  
〈白井子育て支援課長が説明〉

## 7. その他

(1) 平成 30 年第 4 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 燕市入学準備金貸付基金条例の制定について

〈宮路学校教育課長が説明〉

2) 燕市入学準備金貸付条例の制定について

〈宮路学校教育課長が説明〉

○委員（中野 信男）

連帯保証人の条件である 65 歳未満とは、市の他の貸付制度と同じなのか。この条件であきらめる人がいるかもしれない。

○学校教育課長（宮路 一規）

奨学金制度についても、同じく 65 歳未満である。該当する連帯保証人がいない場合は、ご相談いただきたい。

3) 燕市保育園条例の一部改正について

〈白井子育て支援課長が説明〉

4) 平成 30 年度燕市一般会計補正予算（第 9 号）の概要について

〈各課長が説明〉

○委員（斎藤 純郎）

保育士派遣委託料について、派遣保育士の保護者からの評判はどうか。

○子育て支援課長（白井 健次）

保護者からは「しっかりとした対応をしている」と評価をいただいている。

5) 一般質問の概要について  
〈山田教育次長が説明〉

6) 社会教育施設使用料見直しの検討状況について  
〈更科社会教育課長が説明〉

(2) 子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査の実施について  
〈白井子育て支援課長が説明〉

○委員（斎藤 純郎）

調査票の作成等は業者委託になるのか。

○子育て支援課長（白井健次）

業者委託である。

○委員（斎藤 純郎）

教育に関する設問はないため、意見がある場合は最後の自由記入欄に書いて問題ないか。

○子育て支援課長（白井健次）

設問がないものについても、幅広く自由記入欄に書いていただきたい。

○委員（斎藤 純郎）

保育に関する調査の対象者は、母子健康手帳交付者になるのか。

○子育て支援課長（白井 健次）

就学前児童保護者と母子健康手帳交付者である。母子健康手帳交付者については、まだ保育についての具体的なイメージは湧きにくいかもしれないが、今後、どのようなことを求めているのか把握するために調査対象としたものである。

8. 閉 会            午前 11 時 02 分

教 育 長 仲野 孝

---

会議録署名委員 山崎 克弥

---

会議録調整者 矢川 麻里子

---